

## 高知県浦戸湾東部流域下水道高須浄化センター CN処理場計画

下水汚泥エネルギー利用や太陽光発電設備など創エネルギー技術の導入により高須浄化センターのカーボンニュートラルを推進



管理者：高知県

### 創エネ ■下水汚泥有効利用／ 消化ガス発電

高須浄化センターでは水処理で発生する汚泥に加え、高知市の下知及び潮江水再生センターで水処理した後の高濃度汚水を受入れて汚泥処理を実施。令和3年度より汚泥消化施設を導入し、消化で発生するガスを用いて発電（民設民営）を実施。



消化ガス発電設備

消化施設

【導入効果】  
消費エネルギー※の96%を創エネ

### 創エネ ■太陽光発電設備の導入

処理場の未利用地(将来更新用地)を活用しPPAにより太陽光発電設備を導入。



【導入効果】  
消費エネルギー※の29%を創エネ

### 省エネ

- 消化ガス発電余剰熱の活用  
消化ガス発電の余剰熱を消化槽の加温に環流
- 施設更新時に省エネ技術の導入検討
- 運転管理の工夫  
包括的民間委託業務の要求水準に省エネ目標を設定し、省エネを推進

消費エネルギー

<

創出エネルギー

を達成※

※計画で定める目標年度2034度

※消費エネルギー：最初沈殿池から下水の放流及び処理場から汚泥を搬出するまでに消費するエネルギーが対象